

各 位

会 社 名 株式会社日本エスコン
代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴俊
(東証プライム市場・コード 8892)

分譲レジデンス『SEVENS VILLA 軽井沢』
「軽井沢緑の景観賞」における「優秀賞」受賞に関するお知らせ

当社と中電不動産株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長 岡本祥一、以下「中電不動産」といいます。)が手がけた分譲レジデンス『SEVENS VILLA 軽井沢』(長野県北佐久郡軽井沢町)が、この度、令和6年度軽井沢町自然保護対策優良事業「軽井沢緑の景観賞」において「優秀賞」を受賞いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 軽井沢緑の景観賞とは

「軽井沢緑の景観賞」は長野県軽井沢町が主催する賞であり、「軽井沢町の自然保護のための土地利用行為のしるし等に関する条例」及び「軽井沢町の自然保護対策要綱」に基づき、自然環境の保全並びに良好な景観の形成に配慮された建物などを表彰する制度です。本賞は、自然保護に対する理解を深め、町の伝統とすぐれた自然を保護し、国際親善文化観光都市としてのまちづくりを推進することを目的に平成20年度に制定され、毎年募集を行っています。

詳細につきましては、[軽井沢町のホームページ](#)をご覧ください。

2. 『SEVENS VILLA 軽井沢』



外観

【審査員コメント】

従来の集合住宅とは異なり、長屋建て集合住宅というそれぞれの住宅の個性も豊かで、これからの軽井沢の新しいスタイルの先駆けと感じられ、建物や外構、L字型の敷地を有効活用した配置計画など細部にまでわたるこだわりと工夫が非常に素晴らしく高い評価となった。入口の門やゲートについては、審査のなかで論点となり、集合住宅としてセキュリティ面を配慮した設計だと伺えるが、地域コミュニティ形成面から閉鎖的な印象と建築物との融合について意見が分かれた。建物自体は敷地内の自然との調和が感じられるため、入口の門やゲートを含めた景観を演出することによりさらに魅力がある空間となるものと期待が寄せられた。

【物件の特徴】

当該物件は、軽井沢の奥座敷と称される、静寂と深い緑に包まれた南ヶ丘エリアにおいて、約半世紀にわたり親会社である中部電力株式会社の保養地であった 5,000 m²超の敷地に開発された全7邸の分譲レジデンスです。

当社と中電不動産は、軽井沢南ヶ丘の豊かな自然と共存する住まいを追求し、敷地内の既存の樹木を可能な限り残しながら、この地の風景に寄り添うような開発を実現しました。7邸すべてにプライベートガーデンを備え、建物と自然が調和する設計を採用しました。共用部には、森の中を散策するような仕立ての歩行者用の“Villa's Corridor”（散策路）を設け、歩車分離により、安全に軽井沢の自然を満喫できる空間を提供しています。

当該物件は、2024年度グッドデザイン賞も受賞しております。



外観



Villa's Corridor



ウッドデッキ・プライベートガーデン



プライベートガーデン

【物件概要】

物件名称：SEVENS VILLA 軽井沢

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢字西原 1130-7 他（地番）

交通：JR 北陸新幹線・しなの鉄道線「軽井沢」駅徒歩 20 分

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上 2 階建

総戸数：7 戸

引き続き、暮らしそのものを開発する「ライフ・デベロッパー」として、土地の魅力を最大化する開発を行ってまいります。

<本件に関する問合せ> 管理部 広報・IR 担当 電話 03-6230-9308

以上